

新潟市・株式会社博報堂の3者で連携協定を締結しました。

“子どもたちの孤食”と“地域のフードロス”
2つの社会課題解決を目指す。

子ども食堂 フードシェアプロジェクト「ごちそうさまキャラバン」始動！

～ 新潟市・ツインバード・博報堂の3者連携で実現 ～



ごちそうさま
キャラバン
GOCHISO-SAMA CARAVAN

おいしく、たのしく、ごちそうさま！

のこさず食べるのは、だいじなこと。
おいしく食べたら、もっといい。
みんなでたのしく食べたら、もう最高！
わたしたちは、全国各地のあまりかけている食材を
最高の家電でとびきりおいしく。
みんなで一緒にたのしく食べちゃう、
グルメな仲間のキャラバンです。
おなががすいたら、寄ってって！
一緒においしく、たのしく食べて、
最高の「ごちそうさま！」していかない？



株式会社ツインバード(代表取締役社長 野水重明 本社:新潟県燕市 証券コード:6897)は、新潟市および株式会社博報堂(東京都港区)の3者で、食品ロス削減及び食育推進に向けた連携協定を以下のとおり締結しましたのでお知らせします。

新潟市は、2022年に内閣府より「SDGs未来都市」に選定され、“食と農”の持続可能性を高める様々な取組にチャレンジしています。「フードシェア推進による食品ロス削減」として、民間事業者と連携し、規格外品などのオンライン販売やフードバンク、子ども食堂などへの提供により、官民一体で食品ロス削減に取り組んでおり、子ども食堂の支援については、これまでもマップやハンドブックの発行・補助金といった形で取り組んでいましたが、今後、子どもたちの孤食問題と地域のフードロス問題をつなぐ「フレッシュフードシェア活動」で、さらなる支援をしていく考えです。

また、株式会社博報堂は、高いクリエイティビティを持つプロフェッショナルがチームを編成し、広告領域のみならず、経営・事業から社会課題まで、あらゆる領域でクライアントの国内外における課題解決をお手伝いしており、今回人が集まりたくなる場作りという強みで支援していきます。

そして、私たちツインバードは、「食品ロス削減及び食育推進に向けて取り組むことで、市域(新潟市区域)の食品ロスを削減するとともに、こどもたちの健全な食生活の実践をサポートすることを目的」とする新潟市の取組みに賛同し、地域の社会課題解決に貢献したいと考えております。具体的には、本連携協定を機に、子どもたちの孤食問題と地域のフードロス問題に対し、食材を美味しく調理するツインバードの家電製品をご提供し、子どもたちに美味しく楽しい食体験を提供するなど協力をしてまいります。

ツインバードは今後も様々な自治体や企業との連携を深め、これまで事業を通じて培ってきた技術力を活かして、地域活性化に貢献してまいります。

新潟市 及び 株式会社博報堂 との連携協定

1. 目的

本協定は、新潟市、株式会社ツインバード及び株式会社博報堂が相互の資源を活かし、食品ロス削減及び食育推進に向けて取り組むことで、市域(新潟市区域)の食品ロスを削減するとともに、こどもたちの健全な食生活の実践をサポートすることを目的とする。また、「ひとりではできないことも、それぞれの強みや資源を持ち寄り、互いに協力することで、社会課題解決に貢献できる」というメッセージを取組の実践と成果によって広く発信する。

2. 協力事項

新潟市、株式会社ツインバード及び株式会社博報堂は、前条に定める目的を達成するため、次の事項について相互協力を行う。

- (1) 子ども食堂フードシェアプロジェクト「ごちそうさまキャラバン」の事業運営及びその支援
- (2) 事業運営に要する機材・物品提供
- (3) 事業企画・クリエイティブ提供

3. 締結日

2023年12月1日(金)



ものづくりの土壌、燕三条。

燕三条(新潟県 燕市・三条市)は、金属加工技術で知られ、日本を代表するものづくりの町です。わたしたちは、時代変化に寄り添い、新たなニーズに応えつづける燕三条の職人たちと共創することで、感動や快適を生み出すものづくりを目指しています。

<本リリースに関するお問い合わせ先>

株式会社ツインバード 経営企画部 広報担当 梅津 ir@twinbird.co.jp
TEL 0256-92-6111 FAX 0256-92-7582

令和5年12月14日

報道各位

新潟市
株式会社ツインバード
株式会社博報堂

“子どもたちの孤食”と“地域のフードロス”2つの社会課題解決を目指す。
子ども食堂フードシェアプロジェクト「ごちそうさまキャラバン」始動！
新潟市・ツインバード・博報堂の3者連携で実現。

このたび、令和5年12月1日付けで、新潟市、株式会社ツインバード（新潟県燕市）、株式会社博報堂（東京都港区）の3者で連携協定を締結し、子ども食堂フードシェアプロジェクト「ごちそうさまキャラバン」を始動しました。



ごちそうさま
キャラバン
GOCHISO-SAMA CARAVAN

おいしく、たのしく、ごちそうさま！

のこさず食べるのは、だいじなこと。
おいしく食べたら、もっといい。
みんなでたのしく食べたら、もう最高！
わたしたちは、全国各地のあまりかけている食材を
最高の家電でとびきりおいしく。
みんなで一緒にたのしく食べちゃう、
グルメな仲間のキャラバンです。
おながすいたら、寄ってって！
一緒においしく、たのしく食べて、
最高の「ごちそうさま！」していかない？



新潟市
Niigata City



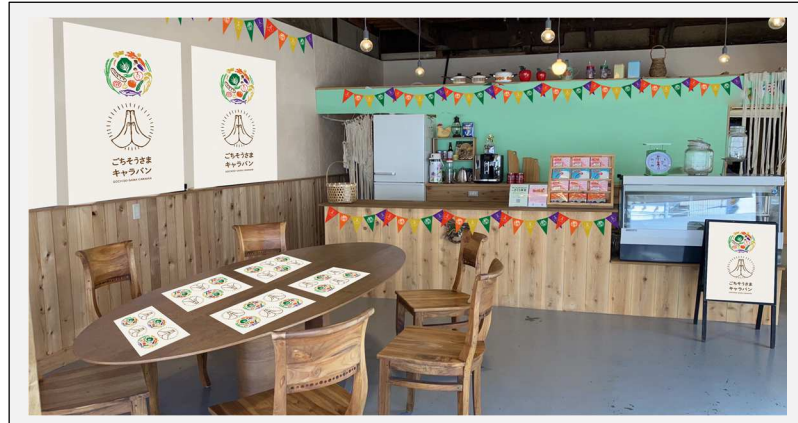
TWINBIRD・HAKUHODO・

「ごちそうさまキャラバン」とは、3者が連携し“ごちそうさま”の心を届けるために生まれた活動体です。

- 子どもたちの孤食問題と地域のフードロス問題を解決したい**新潟市**
- パンをおいしくリメイクするトースターや高い冷凍技術を保有する**ツインバード**
- クリエイティビティで社会課題の解決に取り組む**博報堂**

フードロスになりそうなさまざまな食材を地域から回収し、市内の子ども食堂を巡回しながら、子どもたちに美味しく楽しい食体験を提供します。地域事業者との連携、食材を美味しく調理する家電の技術、人が集まりたくなる場作りといった、それぞれの強みを持ち寄ることで、地域のみなさまを巻き込みながら社会課題の解決を目指します。

2023年12月27日（水）新潟市西区の子ども食堂にて、 「ごちそうさまキャラバン」のイベントを開催します！



第1回目の具体的な活動として新潟市西区にある子ども食堂「さくら食堂」にて、「小さなパン屋さん つくし」（新潟市西区）の協力の元、12月27日（水）にイベントを開催いたします。

イベント当日は、冷凍した「つくし」自慢のラウンドパンを、ツインバードの新製品「匠ブランジェットスター」で美味しくリメイクし、子ども食堂に集まったこどもたちに提供します。また、博報堂が趣向を凝らした会場デザインや仕掛けで、こどもたちの“楽しい”食事を盛り上げます。2回目以降はパンだけでなく、野菜やその他の食材も含めて、検討しており、今後決まり次第順次発表していきます。

報道各社のみならず、是非、当日会場にお越しいただき、ご取材くださいますようお願い申し上げます。

<イベント概要>

日時：12月27日（水） 10:00～16:00

会場：さくら食堂（新潟市西区内野町989） 運営：一般社団法人スマイルストーリー

対象：内野小学校をはじめ近隣小学校の児童

内容：リメイクパンと規格外野菜スープの振舞い（会場内飲食・テイクアウト不可）

申込：事前予約制

参加者：一般社団法人スマイルストーリー 代表 綱本、株式会社ツインバード 企画管理本部 梅津美貴、株式会社博報堂 コピーライター中西亮介、デザイナー大塩伝恵

<当日取材につきまして>

会場のスペースが限られるため、複数社の取材が見込まれる場合には取材時間帯を調整させていただきます。大変お手数おかけしますが、当日取材いただける場合については、12月22日（金）までに、下記問い合わせ先までご連絡ください。

「ごちそうさまキャラバン」立ち上げの背景

子どもたちに温かい食事を無償または安価で提供し、孤食の子どもたちに共食の機会を作り出す「子ども食堂」は年々その必要性を増しており、全国には7,363箇所の子供食堂が存在しています*。またその一方で、日本では年間523万トンのフードロスが生じており、フードロス問題に取り組む団体も年々増加しています。

「ごちそうさまキャラバン」は、これらの社会課題を繋ぐことで、互いにとってWIN-WINの関係を作り出すことを目的として構想されました。さらには「ごちそうさまキャラバン」という活動体のもとで、これまで独立分散的に活動していたさまざまなNPO団体や企業、自治体が繋がることにより、安定的な食材回収や資材提供等を可能にします。

*2022年 NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえの調査による

なぜ「ごちそうさま」「キャラバン」なのか？

「ごちそうさま」は、食材への感謝を込める言葉でありながら、また同時に食事の際の大切なコミュニケーションのひとつでもあります。フードロスに象徴されるように、現代の日本人の多くが忘れかけてしまっている「食材への感謝」を再び思い起こし、また地域の子どもたちが共に食卓を囲む際の幸せな掛け声として「ごちそうさま」を団体の合言葉としました。

また「キャラバン」は、「どこかでは余っている、また別のどこかでは必要とされている食材たちを運んで繋ぐ」という私たち団体の活動意義を示す言葉であるとともに、大小さまざまな団体を繋ぎ、ひとつの活動体として協働していくにあたっての旗印でもあります。多くの団体を巻き込みながら、参加するそれぞれの人々が強みや個性を持ち寄ることで、「ごちそうさまキャラバンがやってきた！」というような形で地域の皆さんに愛され、社会課題を共に解決していくことを目指します。

連携三者の詳細

■ 新潟市



新潟市は、2022年に内閣府より「SDGs 未来都市」に選定され、“食と農”の持続可能性を高める様々な取組にチャレンジしています。「フレッシュフードシェア活動」もその一つで、規格外野菜をはじめとした未利用の食材を子ども食堂に提供する活動に取り組んでいます。

子ども食堂の支援について、これまでもマップやハンドブックの発行・補助金といった形で取り組んできていましたが、今後、子どもたちの孤食問題と地域のフードロス問題をつなぐ「フレッシュフードシェア活動」で、さらなる支援をしていきます。

■ 株式会社ツインバード

心にささるものだけを。



株式会社ツインバードは、1951年に新潟県燕三条地域にて、メッキ加工業として創業。1984年からは本格的に家電事業に参入。以降、お客様の声に真摯に耳を傾けた商品開発と、職人たちによって受け継がれた確かな技術力で、お客様にご満足いただける製品・サービスを提供しています。

■ 本取り組みにおける提供製品のご紹介



TWINBIRD

「匠ブランジェトースター (TS-D486B)」

2023年11月17日(金) 発売

「匠ブランジェトースター」は匠の頭脳を宿したトースターです。世界一※1のパン職人浅井一浩氏の暗黙知を搭載した「匠 BRAIN」。パンの種類に応じたおいしい焼き方で、まるでプロがあなたのために調理するように、パンを丁寧に焼き上げます。

※1 世界大会 iba cup 2015 総合優勝

■ 株式会社博報堂

● HAKUHODO ●

博報堂は1895年に創業し、「生活者発想」と「パートナー主義」という変わることのないフィロソフィーのもとで、日々革新を続けています。高いクリエイティビティを持つプロフェッショナルがチームを編成し、広告領域のみならず、経営・事業から社会課題まで、あらゆる領域でクライアントの皆様の国内外における課題解決をお手伝いしています。今後もクリエイティビティの力で生活や社会、事業構造の変革に寄与するような新たな価値を提供してまいります。